

<ちょこっとコラム②②>

(教会用語 その⑤)

「エキュメニズム」 *Ecumenism*

キリスト教の教派を超えた結束を目指す主義、キリスト教の教会一致促進運動のことで、世界教会主義とも呼ばれます。ギリシア語の「オイコス」(家)から派生した言葉です。日本語では、形容詞のエキュメニカルが良く使われます。20世紀には、プロテスタント教会を中心に、キリスト教の超教派による対話と和解、そして一致を目指すエキュメニカル運動が盛んになりました。この運動において、聖公会は、ローマカトリックとプロテスタントの間を取り持つブリッジチャーチとして重要な役割を果たしています。6月30日(日)午後4時から、近隣の教会や他教派の人たちとともに礼拝と食事をする「エキュメニカル・バーベキュー」を予定しています。ぜひご参加ください！